



平成22年 1月26日

各 位

大阪市西区江戸堀1丁目9番25号
ダイダン株式会社
代表取締役会長兼社長兼CEO
菅 谷 節
(東証・大証第一部 コード番号1980)

(問合わせ先)

取締役常務執行役員業務本部長
多 島 剛
TEL (06) 6447-8000

「中期経営計画」の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年度から平成23年度までの3ヵ年を対象とする「中期経営計画」を修正いたしましたのでお知らせします。

当社では、平成21年5月に発表いたしました「中期経営計画」に基づき、経営全体についての改革を進めてまいりました。しかしながら、今般の急激な事業環境の変化を踏まえ、5年後、10年後のさらなる成長に向け「中期経営計画」の戦略・施策を修正することといたしました。

修正いたしました戦略・施策の概要は次のとおりです。「原点に戻り活力あるダイダンを実現する」ために、当社の原点である顧客と現場をより一層重視した戦略・施策を講じます。既存の事業領域においては、「顧客第一主義の戦略・施策」と「現場第一主義の戦略・施策」に取り組み、これらを円滑に実現するための方策を、「機能第一主義の戦略・施策」によって構築いたします。また、当社はより良い地球環境の実現を使命としておりますが、既存の事業領域から踏み出した分野でもこの使命を果たすべく、「ビジネス領域拡大戦略・施策」としてチャレンジしてまいります。戦略・施策の遂行に当たっては、安全・品質への取り組みを強化し、環境保全に寄与するとともに、コンプライアンスの徹底を図ってまいります。これらの取り組みにより、活力あるダイダンを実現するとともに、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献してまいります。

つきましては、この経営計画の達成に向けて総力をあげてまいりますので、株主各位及び関係者各位には、今後とも一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画

2009/4～2012/3
(2010/4～2012/3)

－ 原点に戻り活力あるダイダンを実現する －

I. 経営理念

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する。

II. 経営方針

1. 世界同時不況による経営環境の変化に対応できる企業に変革する。
2. コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う。
3. 安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う。
4. 各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する。

III. 収益目標

本計画最終年度（平成23年度－第83期）の収益目標は以下の通りとする。

	連 結	個 別
受注工事高	1,420億円	1,400億円
完成工事高	1,420億円	1,400億円
営業利益	36億円	35億円

IV. 重点戦略及び施策

1. 顧客第一主義の戦略・施策

① 総合設備業としての技術力の活用

総合設備業としての技術力を活かし、建物を軸にした漏れのない顧客フォローを実施する。漏れのない顧客フォローのため、建物カルテシステムを構築し、建物を軸とした、設計提案の段階から、施工やメンテナンスの履歴、エネルギー管理と低減提案までの一連の管理システムを構築する。

② 提案営業の推進

顧客に資する技術提案をより一層積極的に実施するため、プレゼンテーションを強化する。

以上の戦略・施策により、以下の効果が期待される。

- ・ 新規顧客の開拓と既存顧客との関係強化による直接受注工事の拡大。
- ・ 電気・空調・給排水衛生等の総合設備工事業者としての強味を活かしたリニューアル工事の受注拡大（リニューアル工事は総受注工事高の50%以上を目標とする）。
- ・ 営業情報の収集強化による情報量の拡大。

2. 現場第一主義の戦略・施策

① 現場体制の見直しによる原価管理の徹底と現場運営リスク軽減

一つの現場を一部門（又は個人）で管理している実態から脱却し、会社組織での管理を実践すべく現場体制の見直しを図る。

② 協力会社の育成

協力会社を指導育成するとともに、連携して施工の効率化を図る。協力会社育成のため、ダイダンマイスター制度を創設する。ダイダンマイスター制度は、協力会社作業員の能力向上を図り、当社の主任技術者や現場代理人が本来業務に専念することにより、安全の確保と、品質の向上の実現を目的とする。

③ 品質トラブルの細かな分析とポイントを絞った対策

施工現場において多岐にわたる品質トラブルを減少させるため、ポイントを絞った対策を練る。品質トラブルは分類・ランク分けし、予防対策に活かす。

以上の戦略・施策により、以下の効果が期待される。

- ・ 工事原価等経費の合理的な節減。
- ・ 安全と品質の確保。

3. 機能第一主義の戦略・施策

① 特定分野に注力するスペシャリストチームの創設

会社及び技術者の大きな力である『経験』を有効活用する組織作りを目指す。従来の産業空調のチーム（産業施設事業部）に加えて、医療施設（病院）、製薬工場（ワクチン）を対象としたスペシャリストチームを創設する。

② ワンストップサービスを可能にする技術者の育成

顧客にとっての総合設備業のメリットであるワンストップサービスに対応できる技術者の育成を継続して実施する。

③ 特定分野に秀でたスペシャリストの育成

専門性が高く、担当する技術者が経験者であることで特に優位性を得る物件に対応できる、特定分野に秀でた技術者を育成する。また、技術力向上が個人にとどまらず、組織全体のレベルアップにつながるような支援とローテーションを実施する。

④ Web会議の導入

時間と経費の有効活用のため、Web会議を導入する。

以上の戦略・施策により、以下の効果が期待される。

- ・ 時代の変化に対応できる柔軟な組織の実現。
- ・ 活力ある人材育成の実現。
- ・ 時間と経費の有効活用。

4. ビジネス領域拡大戦略・施策

① 環境負荷低減に資するビジネスの研究開発と事業化推進

イノベーションを推進し環境ビジネスの事業化を目指す。現在取り組んでいる超臨界CO₂洗浄再生技術やバイオガスを利用したビジネスを立ち上げる。

② 総合設備業の強みを活かしたビジネス領域の拡大

新たな分野において、電気・空調・給排水衛生等の総合設備業の強みを活かすことのできるものに挑戦する。将来的な市場が期待できる植物工場に積極的に挑戦する。

以上の戦略・施策により、以下の効果が期待される。

- ・ 業容、業績の拡大。
- ・ より良い地球環境の実現という経営理念の基、環境負荷低減による社会貢献。

以 上

中期経営計画

2009/4~2012/3
(2010/4~2012/3)

原点に戻り活力あるダイダンを実現する

経営理念

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、
より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する。

2009年 4月 1日 制定
2010年 4月 1日 修正



経営方針

1. 世界同時不況による経営環境の変化に対応できる企業に変革する。
2. コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う。
3. 安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う。
4. 各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する。

顧客第一主義の戦略・施策

- ① 総合設備業としての技術力の活用
・建物カルテシステムの活用
- ② 提案営業の推進
・プレゼンテーション強化



- ・直接受注工事の拡大
- ・リニューアル工事の受注拡大
- ・情報量の拡大

現場第一主義の戦略・施策

- ① 現場体制の見直しによる原価管理の徹底と現場運営リスク軽減
- ② 協力会社の指導育成
・ダイダンマイスター制度創設
- ③ 品質トラブルの細かな分析とポイントを絞った対策



- ・工事原価等経費の合理的節減
- ・安全と品質の確保

機能第一主義の戦略・施策

- ① 特定分野に注力するスペシャリストチームの増設
・医療施設（病院）
・製薬工場（ワクチン）
- ② ワンストップサービスを可能にする技術者の育成
- ③ 特定分野に秀でた人材の育成
- ④ Web会議の導入



- ・時代の変化に対応できる柔軟な組織の実現
- ・活力ある人材育成の実現
- ・時間と経費の有効活用

ビジネス領域拡大戦略・施策

- ① 環境負荷低減に資するビジネスの研究開発と事業化推進
・超臨界CO2洗浄再生技術
・バイオガス
- ② 総合設備業の強みを活かしたビジネス領域の拡大
・植物工場



- ・業容、業績の拡大
- ・環境負荷低減による社会貢献